

抱返り溪谷の魅力

抱返り溪谷、階段状の滝、そしてその時々で空色にも緑色にも見える玉川は、神代ダムから抱返神社まで広がる約 10 キロメートルの森に包まれています。

ダムから下流まで広がる溪谷の雄大な景色は、日本中から自然を愛する人々を呼び寄せます。訪れた人は、夏の鮮やかな新緑が秋の豊かな紅葉に移り変わる様子に感嘆します。

抱返りという変わった名前は、谷の切り立った斜面に由来します。かつて、谷の道は非常に狭く険しかったため、反対方向に向かう人同士が出会った場合、そこを通るためには「抱き返り」、つまり抱き合っただけで向きを変えなくてはなりません。

溪谷の一部では、森の中を散策路が通っています。途中には玉川といくつかの滝を見られるスポットがいくつかあります。豊かな緑に縁どられた岩壁に厚い水のベールが垂れ下がる回顧の滝は、溪谷の見どころのひとつです。

抱返り溪谷を通る散策路は 11 月下旬から 4 月下旬まで閉鎖されます。